

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ソフィアホールディングス
 コード番号 6942 URL <http://www.sophia.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部 シニアマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 吉永 正紀
 (氏名) 諸星 幸則

TEL 03-6205-5330

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	943	4.2	△176	—	△159	—	△156	—
24年3月期第2四半期	905	△43.3	△135	—	△88	—	△178	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △192百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △181百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△7.72	—
24年3月期第2四半期	△8.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	2,859	1,284	43.5	61.58
24年3月期	2,710	1,477	53.0	71.08

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,244百万円 24年3月期 1,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,955	66.3	37	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社サルース、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	20,693,000 株	24年3月期	20,693,000 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

25年3月期2Q	481,944 株	24年3月期	481,673 株
----------	-----------	--------	-----------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	20,211,227 株	24年3月期2Q	20,211,427 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景に緩やかな回復傾向が見受けられます。一方、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高い中で、世界景気のさらなる下振れや金融資本市場の変動が、わが国の景気を下押しするリスクになっております。

当社グループが関連する業界におきましても、企業のIT投資の一部に改善の兆しが見られるものの、依然として慎重な姿勢は変わらず、企業間競争はますます激しさを増しております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、インターネット関連事業を行うソフィア総合研究所株式会社、モバイル事業を行う株式会社ソフィアモバイルが中心となり、多様化する顧客のニーズに対応するためのサービス、企画及び販路拡大等積極的な活動を行うことにより業容の拡大を目指してまいりました。

また、当社グループでは更なる事業拡大を図るべく、平成24年9月14日に、女性若年層を顧客ターゲットとしたシューズやウェア等のアパレル製品を企画・製造・仕入・販売し、ECサイト「salus」においてインターネット通信販売を主軸に事業を展開する株式会社サルースの議決権比率49.04%を取得すると同時に、当社グループより役員4名を派遣することにより株式会社サルースを連結子会社化いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が943百万円（前年同四半期は905百万円）となりました。損益面は、営業損失176百万円（前年同四半期は営業損失135百万円）、経常損失159百万円（前年同四半期は経常損失88百万円）、四半期純損失156百万円（前年同四半期は四半期純損失178百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間において、株式会社サルースを連結子会社化いたしました。これに伴い、従来「その他」の区分に含まれていたECサイト関連事業について、量的重要性が増したため、「ECサイト関連事業」を新たな報告セグメントとしております。

[インターネット関連事業]

インターネット関連のシステム開発及び運営支援、業務コンサルティング、データセンターの運用保守等を行い、売上高は751百万円（前年同四半期は804百万円）となりました。

[ECサイト関連事業]

シューズ、ウェア等アパレル製品のインターネット通信販売等を行い、売上高は113百万円となりました。

[モバイル事業]

スマートフォン端末を使用するIP携帯電話サービス（エスモビ）の提供、デジタルサイネージ端末（naniポ！、nanicaシリーズ）の販売・レンタル及び動画配信管理システム等を行い、売上高は85百万円（前年同四半期は94百万円）となりました。

[デジタルプロダクツ事業]

デジタル製品（ARecX6チューナーレコーダー）の販売等を行い、売上高は0百万円（前年同四半期は6百万円）となりました。

[海外事業]

東アジア圏におけるIT事業の情報収集等を行い、グループ各社に対して事業機会の情報提供、ビジネスの仲介業務等を行い、売上高1百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ149百万円増加し2,859百万円となりました。これは現金及び預金の減少額412百万円、無形固定資産の増加289百万円、投資その他の資産の増加額197百万円等によるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べ341百万円増加し1,574百万円となりました。これは支払手形及び買掛金の増加101百万円、一年内返済長期借入金の増加115百万円、1年内償還予定の社債の減少20百万円、長期借入金の増加67百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ192百万円減少となり、自己資本比率は43.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ412百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には953百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は115百万円（前年同四半期は369百万円の使用）となりました。これは、税金等調整前四半期純損失、たな卸資産の増加額及び売上債権の増加額が主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は225百万円（前年同四半期は205百万円の使用）となりました。これは、匿名組合出資金の払込による支出及び貸付による支出が主な要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は70百万円（前年同四半期は96百万円の獲得）となりました。これは、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出及び社債の償還による支出が主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成24年6月22日付「業績予想に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、株式会社サルースを連結子会社化いたしました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,365,989	953,358
受取手形及び売掛金	376,159	455,879
商品及び製品	60,663	161,636
原材料及び貯蔵品	298	2,881
その他	219,486	113,904
貸倒引当金	△6,385	△5,060
流動資産合計	2,016,211	1,682,600
固定資産		
有形固定資産	61,039	55,992
無形固定資産	26,747	316,599
のれん	—	287,628
その他	26,747	28,971
投資その他の資産		
投資有価証券	363,920	529,019
敷金及び保証金	12,137	26,271
その他	245,457	264,220
貸倒引当金	△15,119	△15,119
投資その他の資産合計	606,395	804,392
固定資産合計	694,183	1,176,984
資産合計	2,710,394	2,859,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,804	198,558
短期借入金	650,000	653,373
1年内返済予定の長期借入金	69,039	184,796
1年内償還予定の社債	40,000	20,000
未払法人税等	4,716	11,111
その他	280,398	355,464
流動負債合計	1,140,958	1,423,304
固定負債		
長期借入金	71,490	139,318
その他	20,884	11,972
固定負債合計	92,374	151,290
負債合計	1,233,333	1,574,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	250,397	250,397
利益剰余金	△849,653	△1,005,703
自己株式	△61,068	△61,086
株主資本合計	1,447,675	1,291,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,676	△46,707
為替換算調整勘定	△1,430	△401
その他の包括利益累計額合計	△11,106	△47,109
新株予約権	40,492	40,492
純資産合計	1,477,061	1,284,990
負債純資産合計	2,710,394	2,859,584

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	905,367	943,327
売上原価	684,336	662,856
売上総利益	221,031	280,471
返品調整引当金戻入額	—	253
返品調整引当金繰入額	—	538
差引売上総利益	221,031	280,186
販売費及び一般管理費	356,511	456,413
営業損失(△)	△135,480	△176,227
営業外収益		
受取利息	9,424	11,007
受取配当金	69	56
貸倒引当金戻入額	24,363	—
匿名組合投資利益	276	13,272
その他	24,284	2,794
営業外収益合計	58,418	27,131
営業外費用		
支払利息	7,499	8,098
為替差損	3,677	2,141
その他	—	381
営業外費用合計	11,177	10,620
経常損失(△)	△88,238	△159,716
特別利益		
固定資産売却益	—	1,219
債務取崩益	—	10,034
新株予約権戻入益	318	—
特別利益合計	318	11,253
特別損失		
減損損失	43,069	—
特別損失合計	43,069	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△130,990	△148,463
法人税、住民税及び事業税	2,298	7,639
法人税等調整額	45,680	△52
法人税等合計	47,979	7,586
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△178,969	△156,049
四半期純損失(△)	△178,969	△156,049

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△178,969	△156,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,682	△37,031
為替換算調整勘定	1,101	1,029
その他の包括利益合計	△2,581	△36,002
四半期包括利益	△181,550	△192,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△181,550	△192,052
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△130,990	△148,463
減価償却費	53,191	26,462
減損損失	43,069	—
のれん償却額	—	2,417
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,363	△1,324
受取利息及び受取配当金	△9,494	△11,064
支払利息	6,831	7,678
有価証券運用損益 (△は益)	△426	—
新株予約権戻入益	△318	—
為替差損益 (△は益)	333	2,236
持分法による投資損益 (△は益)	△21,636	△1,161
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,219
匿名組合投資損益 (△は益)	△276	△13,272
債務取崩益	—	△10,034
売上債権の増減額 (△は増加)	53,148	△34,087
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,604	△15,682
未収消費税等の増減額 (△は増加)	881	1,999
その他の資産の増減額 (△は増加)	△33,622	64,522
仕入債務の増減額 (△は減少)	△66,124	5,758
未払金の増減額 (△は減少)	△11,602	△4,033
預り金の増減額 (△は減少)	△184,220	374
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,339	4,065
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,579	2,211
小計	△342,775	△122,617
利息及び配当金の受取額	969	1,857
利息の支払額	△6,808	△7,649
法人税等の支払額	△24,559	△1,731
法人税等の還付額	3,608	14,841
営業活動によるキャッシュ・フロー	△369,565	△115,299

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	1,258	—
投資有価証券の取得による支出	△138,252	—
有形固定資産の取得による支出	△5,779	△6,141
有形固定資産の売却による収入	—	1,487
無形固定資産の取得による支出	△3,211	△2,910
貸付けによる支出	—	△49,727
貸付金の回収による収入	88	—
匿名組合出資金の払込による支出	△50,000	△191,000
匿名組合出資金の払戻による収入	—	3,057
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△140
敷金の差入による支出	△10,928	△8,844
敷金の回収による収入	1,020	28,283
投資活動によるキャッシュ・フロー	△205,804	△225,935
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	3,373
リース債務の返済による支出	△23,532	△20,045
長期借入れによる収入	123,000	—
長期借入金の返済による支出	△52,850	△33,399
社債の償還による支出	△50,000	△20,000
自己株式の取得による支出	—	△18
配当金の支払額	△4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	96,611	△70,089
現金及び現金同等物に係る換算差額	△349	△1,305
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△479,107	△412,630
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,312	—
現金及び現金同等物の期首残高	2,003,127	1,365,989
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,539,332	953,358

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	インターネット 関連事業	モバイル 事業	デジタルプロ ダクツ事業	海外事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	801,553	94,713	6,829	—	903,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,405	—	67	—	3,472
計	804,959	94,713	6,896	—	906,569
セグメント利益又は損失(△)	4,275	△55,595	△3,255	△989	△55,565

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△55,565
セグメント間取引消去	—
全社損益（注）	△79,321
その他の調整額	△593
四半期連結損益計算書の営業損失	△135,480

(注) 全社費用は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイル事業」セグメントにおいて、デジタルサイネージ端末「nanica7」に係る事業用資産について、事業環境の悪化により収益性が低下したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（39,131千円）として特別損失に計上いたしました。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	インターネット 関連 事業	E.Cサイト 関連事業	モバイル 事業	デジタルプ ロダクツ 事業	海外事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	747,461	113,735	81,289	785	—	943,272
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,235	—	4,606	61	1,331	10,234
計	751,697	113,735	85,896	847	1,331	953,507
セグメント利益又は損 失(△)	21,796	4,550	△100,089	△3,547	△8,932	△86,221

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△86,221
セグメント間取引消去	114
のれんの償却額	△2,417
全社損益（注）	△84,858
その他の調整額	△2,844
四半期連結損益計算書の営業損失	△176,227

(注) 全社費用は、主に提出会社に係る損益であります。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当第2四半期連結累計期間において、株式会社サルースを連結子会社化いたしました。これに伴い、従来「その他」の区分に含まれていたE.Cサイト関連事業について、量的重要性が増したため、「E.Cサイト関連事業」を新たな報告セグメントとしております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。